

事業所名:みらいずジュニア横手

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	利用児が多く、個別対応、複数グループが重なった場合は教室の仕切りや活動時間の工夫をして、児童にとって不便のないよう配慮している。教室内をうまく利用しながら、運動の内容なども見直していきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	児童の状況に合わせて検討し合い、対応している。また、他事業所の協力を得ることもある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	施設内は見通しの良い段差のない造りになっており、トイレもバリアフリー対応になっている。着替え、静養室、立ち入りできない部屋などはイラストを掲示して視覚で分かりやすいようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	環境整備については、教室内の備品、清掃等定期的に点検をし必要に応じて改善するようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	ミーティングの時間が十分に確保できるよう時間調整をしたり、参加できなかった職員への申し送りを口頭だけでなく回覧形式にしたりしている。ミーティング等にて児童の様子を共有し、次の利用時の療育に繋げている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施し、結果をもとに改善できるよう努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	みらいずのHPにて公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	0%	100%	現在、第三者による外部評価は無いが、評価してもらうことで業務改善に繋がられるよう取り組みを検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	必要に応じて外部研修を受けたり、社内では定期的に各種研修を行ったりして全職員が学べる機会が設けられている。(集合研修、オンライン研修の活用)
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	担当者会議や保護者面談などを元に支援計画の作成をしている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	みらいず全事業所共通システムのHUGを使用している。保護者様に向けての日々の活動の様子を伝える他、児童についての情報、日々のケア記録、個別支援計画等を入力し、職員間での共通理解ができるようにしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	個別支援計画に児童の支援内容を記載している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	個別支援計画の内容に沿って支援している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	社内のプログラム作成チームに各事業所の職員が参加している。検討した内容を事業所で実施、改善しながらプログラムを立案し、活動を提供できるようにしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	全体、個別共にそれぞれに合った活動プログラムが提供できるように、職員間で相談しながら内容を改善、提供している。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	苦手意識のある部分は個別活動で意欲と自信に繋がるように、誰かと活動する関わり方や楽しさは集団活動で実感することができるようになど、個人に合った支援ができるよう立案している。	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	日々のミーティングや担当者会議内で、個々の業種や多方面からの視点を持って意見を出し合えるような環境づくりに配慮している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	児童について得られた情報や支援についてを職員間で共有し、支援提供に活かせるようにしている。毎日振り返り(できない日は翌日)を行い、児童の情報共有を行い、療育へと繋げている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	日々の記録は必ず取り、支援の検証・改善に繋げている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	支援計画の見直し・改善を定期的に行い、統一した支援ができるようにしている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	児童については職員間で意見をまとめ、事業所の担当者会議には管理者が主に出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	0%	保育園や幼稚園との連携の他、担当者会議の他送迎時の情報交換も大切にしている。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	必要に応じて、直接お話をさせていただいたり、相談員を通じて情報共有をさせていただいている。保護者様を通して園での様子を共有させていただいている。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	市の「サポートファイル作成会議」に参加したり、必要に応じて情報共有をさせていただいたりしている。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	療育センターや医療機関と必要に応じて情報共有を行い、いただいた助言は支援内容に検討して取り入れていく。相談員がモニタリング等で来所した際に児童の様子を共有している。
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	100%	障害のない児童との交流や活動機会について、今後検討していきたい。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	市の子ども支援部会に管理者が参加している。行政・他事業所の状況について知ることができ、学ばせていただいている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	面談や送迎時に児童の様子を伝えている。誤解のないよう、話す雰囲気づくりや言葉選びに配慮している。対面が難しい保護者様には連絡帳やLINEなどを利用して伝えるようにしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0%	100%	0%	日々のやり取りの中で、発達や子供との関わり方についてお話をすることがある。ジュニア横手ではペアトレを開催したことがないので、検討し開催できるようにしたいと思っている。
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時にお伝えし、不明点や疑問点についてはその都度教えてほしいとお話している。
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	個別支援計画に児童の支援内容を記載し、保護者より同意を得ている。
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	保護者様から悩みや質問があった場合は丁寧な聞き取りを心がけ、状況に応じて面談の場を設ける等して対応している。また、得た情報は職員間で共有し支援に取り入れている。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	0%	100%	現在は保護者会等はないが、お互いの悩みや思いを話し合える場を検討していく。(ペアレントトレーニングも保護者交流の良い機会になるかもしれない)
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	相談や申し入れがあった場合は、状況確認・体制について等迅速に対応するようにしている。

	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	LINEでの周知やポスター掲示をしている。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	保護者様には必要事項について承諾をいただいている。守秘義務を徹底している。
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	相手に対し分かりやすく、誤解のないよう、丁寧な説明を心がけている。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	0%	100%	敷地内にある芝生運動場で活動中に地域の方とあいさつをする程度で、地域住民との交流設定ができていないので、今後検討していきたい。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	0%	社内研修を行い、職員間で各マニュアルについて確認している。保護者様には、避難訓練等を行っていることを連絡帳等で知らせている。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	避難訓練(火災、自然災害等)を実施している。非常袋の点検も行っている。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	契約や面談時などに保護者様に確認している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	おやつ提供がある為、保護者に食物アレルギーの有無を確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0%	100%	0%	ヒヤリハット報告書はないが、ヒヤリハットに当る事案は職員同士共有し、改善の為の対応をしている。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止委員会を実施している。全職員が虐待防止研修に参加している。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	0%	身体拘束について研修を受けている。保護者様へは契約時に説明している。